



目次 -CONTENTS-

表紙：坂下東幼稚園幼年消防クラブ満了式

今、災害に備える

住宅地を販売します！	4
国民健康保険の 加入・脱退手続きは14日以内に！	5
平成30年 農作業標準賃金協定額・ 賃借料情報	6
齋藤町長のスマイルトーク・まちの話題	8

2	3月のカレンダー	9
	図書室だより・町史編さん調査余話(9)	10
	ばんげの味が育てる おいしい楽しい健やかライフ	11
	お知らせ information	12
	こどもと健康の広場	16
	幼稚園、保育所の豆まき・ 幼年消防クラブ満了式	18

今、災害に備える

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、町にも道路の寸断や建物損壊350棟余り、負傷者1名の大きな被害をもたらしました。

毎年、日本各地で地震や豪雨による災害が発生しており、私たちの身にもいつ災害が降りかかるか分かりません。もし、災害に遭遇してしまったり、私たちはどのように行動すれば被害を最小限にとどめることができるのでしょうか？
災害への目頃の備えについて、いま一度考えてみましょう。

写真：坂下東幼稚園避難訓練

1 会津坂下町で想定される災害とは

台風・豪雨による洪水災害

当町は会津盆地西部に位置し、阿賀川、宮川、旧宮川、只見川など4つの大きな河川があり、水路やため池が多いという地理的特徴を持っています。加えて、夏冬の寒暖差、降雨量の多さも要因して、過去9度の大雨洪水被害が発生しています。最近では、平成23年7月の新潟・福島豪雨による只見川水系の大洪水は記憶に新しく、また、東日本大震災からの傷跡も癒えぬ状況での多重災害となりました。



豪雨により増水する宮川

巨大地震や会津盆地西縁断層帯による地震災害

会津盆地西縁断層帯は、喜多方市から町を経て会津美里町に至る長さ約34kmの活断層です。今後30年以内の地震発生率はほぼ0%という評価ですが、最悪の事態を想定して備えることも重要です。もし、会津盆地西縁断層帯による地震が発生した場合、マグニチュード7.0の大地震が想定されます。

また、東日本大震災では、岩手県から千葉県北東部の沖合にかけて広い範囲で地震が発生し、本震当日にマグニチュード7.0以上の地震が3回発生しました。このような巨大地震の影響する範囲は広く、当町にも「想定外」の被害が及ぶ可能性もあります。

出典：会津坂下町防災計画書（平成26年度改定版）

平成27年2月17日策定 会津坂下町防災会議
「会津盆地西縁・東縁断層帯の活動性および活動履歴調査」

平成19年5月 独立行政法人産業技術総合研究所



寸断され通行できなくなった道路（樋渡）

2 災害発生時、どう行動すればよいのか —安全確保が最優先！—

地震発生！ 身の安全確保・火の確認

机の下に隠れたり、手近な座布団などで頭を保護。火もすばやく消しましょう。

1～2分

家族の安全を確認

3分

避難 隣近所で助け合う

5分

防災機関、役場からの情報を確認

10分～数時間 救出・救護活動

洪水は早めの避難を！

洪水の場合、大雨が続くなどの予兆が見られます。

役場や防災機関などの情報を収集し、大雨が予想されている場合は早めに避難しましょう。

川や用水路の様子は絶対に見に行かないでください。

3 日常の「防災」があなたの命を守る —できることから始めよう！—

主な避難場所一覧

広瀬地区
 広瀬コミュニティセンター
 花ちゃん公園

川西地区
 農村環境改善センター
 川西コミュニティセンター
 川西公園

高寺地区
 東松振興センター
 高寺コミュニティセンター

八幡地区
 旧坂本分校・分校前広場
 八幡コミュニティセンター

若宮地区
 牛沢公園
 若宮コミュニティセンター

坂下地区
 福荷塚公園
 坂下中学校
 諏訪公園
 桜が丘公園
 坂下南小学校
 中央公民館
 坂下中央公園
 ステーションばんげ南公園
 ほか

金上地区
 金上コミュニティセンター
 福原公園
 ばんげひがし公園

※「会津坂下町防災マップ」に避難所一覧を掲載しています。

1. 避難場所・経路を家族で共有しよう

災害時は電話などの通信網がつながりにくくなることも想定し、家族がどの避難場所に避難するかなど必ず決めておきましょう。これにより避難時の不必要な行動やストレスを減らし、安全を確保することができま。また、どんな方法で連絡を取るかを相談しておきましょう。

災害用伝言ダイヤルとは？

通話がつながりにくい場合に利用できる声の伝言板です。一般・携帯・公衆電話から利用可能。1伝言30秒以内。

伝言録音 ☎ 171-1- 本人の電話番号
 伝言再生 ☎ 171-2- 相手先の電話番号

2. 非常持ち出し品を常備しよう

甚大な災害の場合は電気、水道などのライフラインが止まってしまふ可能性があります。各家庭で3日分の飲料水・食料、生活必需品の備蓄をしておくことが重要です。リュック、サックなどに詰め、すぐに持ち出せるよう備えておきましょう。



3. 防災訓練に参加しよう

町では年に1度、防災訓練を実施しており、避難や負傷者への対応、救助方法などを学ぶことができます。災害時に迅速に動くことができるかどうか、災害による被害を最小限に抑える鍵となるのです。



4. 自宅の安全対策を！

固定器具などを使用し、家具の転倒を防ぎましょう。また、寝室や子供部屋にはなるべく家具を置かず、安全を確認できるスペースとしましょう。



防災マップを活用しよう！

災害対策はこれ一冊で網羅できます！お手元に置いてご利用ください。

- ・災害用伝言ダイヤル
- ・地震、洪水、火災対策
- ・避難所など一覧
- ・各種緊急連絡先一覧
- ・ハザードマップ

平成28年度に配布済みです。



QRコードよりダウンロードできます。▶▶

忘れないで、いつも心に「防災」を！

一人ひとりの防災意識が「減災」に繋がります。地域防災は、自分自身で命を守る「自助」、地域が互いを守る「共助」、行政施策の「公助」を基本とします。これらが適切に役割分担されたとき、災害を最小限に食い止める「減災」ができるのです。町防災士連絡協議会は、様々な場での防災・減災の知識と技能の習得や、防災普及活動を行っています。「自分の命は自分で守る、地域の安全はみんなを守る」を合言葉に、防災意識を高めていきましょう。

一人ひとりの防災意識が「減災」に繋がります。

会津坂下町防災士連絡協議会 会長 鶴見 常夫さん

